

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	音楽A		
英文授業科目名	Music A		
開講年度	2005年度	開講年次	1、2年次
開講学期	1、3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長岡 英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
mnagaoka@za3.so-net.ne.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>西洋音楽史--クラシック名曲を通して--</p> <p>西洋音楽は私たち日本人の生活の中に溶け込んでいて、テレビ・コマーシャルや携帯電話の着メロなどに、さまざまなクラシックが使われている。音楽A、Bの授業では、耳にする機会が多い有名な曲を毎回1曲ずつ取り上げ、作曲家やその音楽を文化的・社会的コンテキストの中に位置づけることにより西洋音楽史を概観する。今年度は管弦楽曲を中心に据え、前期にそれらを、また後期はそれ以外の独奏曲、歌曲などを扱う。</p> <p>音楽の本来の姿は「鳴り響き」である。したがって試験は、授業で取り上げた曲のいくつかを聞いて、作曲家名、題名などを同定したうえでその曲に関して論述する、ヒアリング問題を中心にする。西洋クラシック音楽に関する、大学生としての教養・常識を身につけることが目標である。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし。ただし、音楽Aを履修した者のみが音楽Bを履修できることに注意。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
世界史と音楽の基礎知識があることが望まれる。

<b>【教科書等】</b>
教科書：久保田 慶一、ほか「はじめての音楽史」音楽之友社

【授業内容とその進め方】

音楽A

- 第1回 導入：西洋音楽史の基礎
- 第2回 ヴィヴァルディ：四季
- 第3回 モーツァルト：交響曲第40番
- 第4回 ベートーヴェン：交響曲第5番
- 第5回 シューベルト：未成交響曲
- 第6回 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
- 第7回 スメタナ：モルダウ
- 第8回 ヨハン・シュトラウス2世：美しく青きドナウ
- 第9回 ブラームス：交響曲1番
- 第10回 ムソルグスキー：展覧会の絵
- 第11回 チャイコフスキー：白鳥の湖
- 第12回 ラヴェル：ボレロ
- 第13回 ストラヴィンスキー：春の祭典
- 第14回 予備日

参考：音楽B

- 第1回 グレゴリオ聖歌
- 第2回～第5回 器楽独奏曲
- 第6回 室内楽曲  
(11/16 休講)
- 第7回 歌曲
- 第8回～第9回 オペラ
- 第10回 その他の管弦楽曲+歌
- 第11回～第13回 未定
- 第14回 予備日

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2 / 3 以上出席して学期末試験を受けることが採点の対象となる条件。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないので、電子メールで連絡してください。

【学生へのメッセージ】

毎時間、受け身で音楽を聞き流すのではなく、音楽自体も覚えようとする積極的な態度が必要である。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【その他】